

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公開番号】特開 2007-106316 (P2007-106316A)

【公開日】平成 19 年 4 月 26 日 (2007.4.26)

【年通号数】公開・登録公報 2007-016

【出願番号】特願 2005-300658 (P2005-300658)

【国際特許分類】

B 6 0 K 11/06 (2006.01)

B 6 0 K 1/04 (2006.01)

H 0 1 M 10/50 (2006.01)

H 0 1 M 8/04 (2006.01)

B 6 0 K 8/00 (2006.01)

B 6 0 K 6/28 (2007.10)

B 6 0 K 6/32 (2007.10)

H 0 1 M 8/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 11/06 Z H V

B 6 0 K 1/04 Z

H 0 1 M 10/50

H 0 1 M 8/04 T

B 6 0 K 8/00

B 6 0 K 6/04 1 3 0

B 6 0 K 6/04 1 4 0

H 0 1 M 8/00 A

H 0 1 M 8/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 4 日 (2007.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発熱を伴う蓄電部と、

前記蓄電部と異なる大きさの発熱を伴う機器と、

相対的に小さい発熱を伴う前記蓄電部および前記機器のいずれか一方を冷却した後の空気が流れ、車外に通じる第 1 の空気通路と、

相対的に大きい発熱を伴う前記蓄電部および前記機器のいずれか他方を冷却した後の空気が流れ、前記第 1 の空気通路に合流する第 2 の空気通路と、

前記第 2 の空気通路が合流する位置よりも空気流れの上流側で前記第 1 の空気通路に接続され、車両室内に通じる循環通路とを備え、

前記第 1 の空気通路は、車外に排気するための排気ダクトによって構成されている、蓄電装置の冷却構造。

【請求項 2】

発熱を伴う蓄電部と、

前記蓄電部と異なる大きさの発熱を伴う機器と、

前記蓄電部および前記機器を冷却する空気が流れ、車外に通じる空気通路とを備え、
相対的に小さい発熱を伴う前記蓄電部および前記機器のいずれか一方は、相対的に大きい発熱を伴う前記蓄電部および前記機器のいずれか他方よりも前記空気通路の空気流れの上流側に配置されており、さらに、

相対的に小さい発熱を伴う前記蓄電部および前記機器のいずれか一方よりも空気流れの下流側で、かつ相対的に大きい発熱を伴う前記蓄電部および前記機器のいずれか他方よりも空気流れの上流側で、前記空気通路に接続され、車両室内に通じる循環通路を備える、蓄電装置の冷却構造。

【請求項 3】

前記機器は、前記蓄電部からの電圧を変圧するコンバータであり、前記蓄電部よりも大きい発熱を伴う、請求項 1 または 2 に記載の蓄電装置の冷却構造。